



## 下ノ橋町 町内会だより 令和六年 盛夏号



**岩**手保護院が全面改築をします。

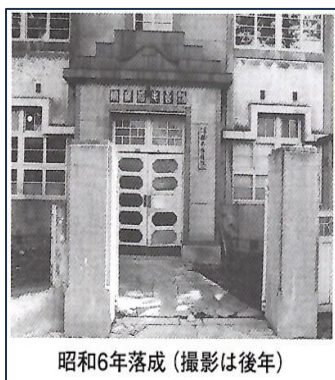
「えっ、なにををするところ？」の方もいるでしょうから説明をします。

Q1 どんな施設ですか？

A1 刑務所を釈放された人が、円滑に社会復帰できるよう支援し、自立を援助します。そのことが再犯防止につながってきました。管轄は法務省です。

Q2 下ノ橋町にはいつからあるのですか？

A2 大正8年に西下台から移転しました。  
昭和6年と昭和48年の二度、改築してきました。今度は三度目です。



昭和6年落成（撮影は後年）

Q3 なぜ、下ノ橋町に？

A3 もともと保護院の地所には幕末まで、鷹匠の下級武士の家がありました。

南部藩がつぶれたとき（明治4年の廃藩置県）に

十一屋さんが買い取っており、その土地を保護院に売ったのです。

Q4 なるほど。十一屋さん（2-12）と保護院（2-25）は背中合わせですが、そういうわけだったんですね。

A4 盛岡信用組合（現信用金庫）の初代組合長だった十一屋の高橋伊兵衛氏は岩手免囚保護院（現保護院）の会計もしており、また、更生支援のために免囚を何人も店員に雇っていました。

Q5 誠実で愚直な人柄だったそうですね。

だから、人柄が似ている新渡戸稲造とも会ってすぐに意気投合したのでしょうか。



稲造（左）と伊兵衛（右）

A5 そのようですね。稲造が伊兵衛を訪ねた時の写真が残っています。

Q6 まださまざまな逸話がありそうですが話をもちします。改築はいつ頃

までかかるのでしょうか？

A.6 令和8年3月完了の予定です。隣にある下の橋コーポは解体します。アスベストはありませんからご安心ください。

Q7 今まで玉兼神社祭りや2階の会議室をお借りするなど町内会とは良い関係が続いていますが・・・

A7 いままでよりも広い集会室を1階につくりますので利用してください。

Q8 工事期間の留意点は？

A8 工事車両が出入りするので登下校や交通のじゃまにならないように十分に配慮します。日程が決まったら連絡します。



令和8年完成予定

参考：岩手保護院発行のパンフレット  
盛岡信用金庫発行『高橋伊兵衛伝（藤井茂著）』